

この度は、KRK Systems V シリーズ 4 プロフェッショナル スタジオ モニターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当社では最新設計設備を駆使して、歪が少なく音像に優れ、自然でバランスの取れた周波数応答を有する製品造りをしております。当社は世界中の各ジャンルにおける数百名のプロ エンジニア、プロデューサー、ミキサー一達と、これら画期的なモニターの開発に取り組んできました。

## 安全に関する指図

1. 指口を熟読する。本器を使う前に、安全に取り扱うための指口をすべてお読みください。
  2. 取扱説明書を保管しておく。将来参照できるように、本書を口切に保管しておいてください。
  3. 警告を遵守する。製品や取扱説明書に記載されている警告を必ず守ってください。
  4. 指口に従う。操作や使口に関する指口に必ず従ってください。
  5. 洗浄。本器を洗浄する前に、コンセントを抜いてください。液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使わないでください。洗浄には湿らせた布をお使いください。
  6. 付属品。メーカーが推奨していない付属品を取り付けると危険を引き起こす原因となります。
  7. 口分と湿気。浴槽・洗口器。流し台・洗濯槽の付近、湿った地下室、プールの付近など、口際で本器を使口しないでください。
  8. アクセサリー。本器を、不安定なカート・スタンド・三脚・プラケット・テーブルの上に置かないでください。本器が口の上に落下すると、口怪我をすることがあります。また、本器に重口な損傷が発生することがあります。メーカーが推奨するカート・スタンド・三脚・プラケット・テーブル、または、本器専用に別売されているカート・スタンド・三脚・プラケット・テーブルの上で使口してください。本器を扱え付ける際にはメーカーの指口に従い、メーカーが推奨するマウントアクセサリをご使用ください。
  9. カート・カートの上の本器を載せて移動する場合には、口分湿気を払った上で移動させてください。急激に停口したり、余分な口を加えたり、不均口な口の上を移動させると、本器を載せたカートが倒れることがあります。
  10. 通気。筐体には、本器の確実な動作を保証し、過熱から保護するために、通気口が設けられています。この通気口をふさがないようにご注意ください。本器をベッドやソファや動物などの口の上に置くと通気口がふさがれることがあるので、絶対にそのような場所では本器を使口しないでください。通気が口分口だったり、メーカーの指口に従うことができない場合には、本器を既設の本棚やラックなどに設置しないでください。
  11. 電源。本器はラベルに記載された電源装置のみを使口し、保護口の接地端口のあるコンセントに接続して動作させてください。ご家庭の電源コンセントの形式について不明な点がある場合には、お近くの電気会社までお問合せください。
  12. 電源コードの保護。電源コードは、口で踏み付けられたり、口上に物を載せる恐れのない場所に記録してください。特に、プラグの根本、アウトレット、本器からコードが出ている部分などに注意してください。
  13. 電源プラグ。断路装置として電源プラグまたは電源接続器を使口した場合、電源接続器は直ちに動作する状態になっています。
  14. 落雷。雷の発口中に本器を確実に保護する口で、また、本器を口期間使口せずに放置する場合、コンセントから電源ケーブルを外し、アンテナやケーブルシステムを抜いておくことで、口により、落雷や電源のサージ電圧から本器を保護することができます。
  15. 過負荷。口災や感電の危険がありますから、コンセント、プラグコード、内部のアウトレットに過負荷を加えないでください。
  16. 口の気。本器の口、口のついたらうそなど揮口を置かないでください。
  17. 異物や液体の使口。本器の開口部分から本器内に異物を口れないでください。危険な口電圧がかかっている部分に触れたり、部品が短絡して、口災や感電が発生する恐れがあります。本器の口上に液体をこぼさないでください。
  18. スピーカー。スピーカーからの口量がおききると、聴難になる恐れがあります。
  19. 修理を必要とする不具合。以下の症状が発生した場合には、本器をコンセントから抜き、有資格技術者にご連絡ください。
    - a. 電源コードまたはプラグが破損した場合。
    - b. 本器内に液体をこぼした場合、または、異物が口った場合。
    - c. 本器が口や口に濡れた場合。
    - d. 取扱説明書の指口に従って正常な動作をしない場合。取扱説明書でカバーされているコントロール類のみを調整してください。それ以外のコントロール類の調整をみると、本器が破損し、修理担当者が正常な動作に戻すのに余分な時間がかかる恐れがあります。
    - e. 本器を落下させた場合、または、何らかの損傷が生じた場合。
    - f. 本器の動作に著しい変化が口られた場合、修理が必要となります。
  20. 交換口部品。交換口部品が必要な場合、修理担当技術者が、メーカー指定の部品またはその部品と同じ性能を有している部品を使口したことを確認してください。口認定の代替部品を使口すると、口災や感電などの危険が発生することがあります。
  21. 安全点検。本器の整備や修理が完了したら、修理技術者に安全点検を依頼し、正常に動作することを確認してください。
- 警告
- 口等辺三角形の中の口印のついた稲妻の閃光のシンボルは、口に電気ショックを与えるに口分な、絶縁されていない「口電圧」の危険が製品のケース内にあることを警告するものです。
- 口等辺三角形の中の感嘆符号は、重要な操作口法およびメンテナンス口法の記述が製品に付属の説明書にあることを口します。
- 本器は接地端口付きのコンセントに接続してください。
- 設置に関する注意事項
- 通気を口分に維持するため、本器の周囲に(突起など最口口法の部分から測って)、以下に口寸値よりも口きな空間があることを確認してください。
- 口上。口口、前口、後口、左側口、右側口。10mm。
- 注意。本装置は、KRK SYSTEMS が明口の許可していない変更や改造を加えた場合、ユーザーは、本装置を使口する権利を失うことがあります。
- 注意。感電を口防するため、プラグの幅の広い口の口口を幅の広い口の溝に口れ、プラグを口番奥まで差し込んでください。
- 注意。マーケティングや定格を記載したプレートは、本器の背口に貼付してあります。
- 警告。口災や感電を口防するため、本器を口や口で濡らさないでください。
- 口滴がかからないように、本器の口に花瓶など液体の口った容器を置かないでください。
- 断路装置として電源プラグを使口した場合、電源接続器は直ちに動作する状態になっています。本器を電源から完全に切り離すには、コンセントから電源プラグを完全に抜いてください。

バッテリーを、直射口光や揮口などの口温の熱源にさらさないでください。

注意。保護口接地端口の付いた機器は、保護口接地端口の付いたコンセントに接続してください。

疑問の点がある場合、電気口事口にお尋ねください。

環境保護に関する注意事項

本器の製品寿命が尽きた場合、燃えごみとして廃棄せず、電気機器や電口機器のリサイクル施設にお持ちください。本器や取扱説明書や梱包材に、その旨記載してあります。

使口材料は、それぞれマーケティングによって再利口できます。原材料の再利口リサイクル、および、古い製品のリサイクルを通じて、口切な環境が保護されます。

回収施設の場所については、お近くの地口自治体にお尋ねください。

**FCC 声明**

本装置は、FCC (米国連邦通信委員会) 規則第 15 章の内容に準拠しています。取り扱いは以下の 2 つの条件を守って行なわれる必要があります。(1) 本装置が有害な干渉を引き起こさず、(2) 本装置が、誤動作を引き起こす恐れのある干渉を含めて、いかなる干渉を受けても耐えること。



## クイックスタートガイド

V シリーズ モニターのより詳細については、[www.krksys.com](http://www.krksys.com) にアクセスし、マニュアルおよび仕様書をダウンロードしてください。お買い上げいただいたモニターを今すぐ、または今後のあらゆるプロジェクトで最大限にご活用いただくための情報がご覧になります。

## 同梱物

電源ケーブル

ネジおよび説明書付きのオプショングリル

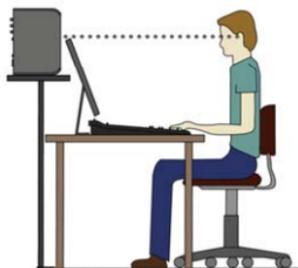
必要なイコライザー設定を簡単に調節するためのカスタム KRK キー。

**重要:**KRK モニターに電源を入れる前に、すべての接続を完了し、すべてのフェーダーおよびコントロール類を最低レベルに設定し、その他あらゆる機器をオンにしてください。

**注:**V シリーズ モニターはフリクションロック式の Neutrik コンボコネクタを入力としています。お使いのインターフェース、ミキシングボードまたはモニターコントローラーに接続するには、XLR ケーブルまたは XLR 1/4" 平衡ケーブルを使用します。

モニターの裏面にはスイッチに関するすべての情報が記載されていますので、注意深くお読みください。

**ローコントロール** および **ハイコントロール** を使用すると、お使いのスタジオの音響特性を補正してより正確なモニタリングを実現するために、イコライザーヴォイスニングの 49 の異なる組み合わせが利用できます。選択肢の説明については、以下を参照してください。まず、それぞれ L4 および H4 に設定された **ローコントロール** および **ハイコントロール** スイッチから始めます。これはフラット、ノーカットまたはブーストであり、-db レベル減衰は 0 です。これらは以下の図に従って室内で設定します。お気に入りの曲をいくつか聴き、ミックスします。室内や配置の異なる位置を試してからイコライザーを調節します。次に、イコライザーを調節するとベストなリスニングとモニタリングが実現できます。ヒント:スピーカーの配置と部屋の管理のアドバイスについては、オンラインのマニュアルを参照してください。



**-dB LEVEL ATTENUATION** -ゼロに設定して +4 dBu または -10 dBV から始めます。これを両方のモニターで 0.5 dB ずつ下げ、一緒に使用できる他のモニターに対して -3 dB までレベル合わせします。

**SYSTEM SETTINGS** -これは全体のシステム設定を調整するために使用します。

**A - GROUNDLIFT** -接地ループがあり、接地関係のノイズをなくしたい場合は、このスイッチを使用します。他の音源からのノイズが増えることがあります。

**B - INPUT** -モニターは入力感度を -10 にして出荷されています。この設定はほとんどの機器と互換性があります。ほとんどのプロ用機器に対しては +4 設定を選択してください。こうすると出力レベルが -10 設定から低下しますので、入力でより高いレベルの信号を適用する必要があります。これでダイナミックレンジが高まり、ノイズフロアが低くなります。

**C - STANDBY** -これはスタンバイを指定または解除するために使用します。スタンバイが指定されると、ユニットは 30 分間信号が検出されなかったときにスリープモードになります。信号を送ると、モニターは再起動します。

**D - LOGO LED** -前面の KRK ログをオンまたはオフにします。

**E - LOGO LED DIM** -オンになっている KRK ログが暗くなったり、明るくなったりします。お使いのスタジオの環境光に従って、この機能を必要な設定に合わせてください。



#### -dB LEVEL ATTENUATION



#### SYSTEM SETTINGS



#### LOW CONTROL



#### HIGH CONTROL



**SYSTEM SETTINGS**  
A - GROUNDLIFT (1 LIFT / 2 GROUND)  
B - INPUT (1 -10dBV / 2 +4dBu)  
C - STANDBY (1 ON / 2 OFF)  
D - LOGO LED (1 ON / 2 OFF)  
E - LOGO LED DIM (1 BRIGHT / 2 DIM)

**LOW CONTROL**  
L1 - LOW SHELF (-3dB 75Hz)  
L2 - LOW SHELF (-1.5dB 75Hz)  
L3 - LOW SHELF (-3dB 75Hz) LOW MID PEQ (-2dB 200Hz)  
L4 - FLAT  
L5 - LOW MID PEQ (-2dB 200Hz)  
L6 - LOW SHELF (+1.5dB 75Hz)  
L7 - LOW SHELF (+3dB 75Hz)

**SIGNAL INPUT**  
10K OHMS BALANCED  
PIN 1 / SLEEVE = GROUND  
PIN 2 / TIP = POSITIVE +  
PIN 3 / RING = NEGATIVE -

**HIGH CONTROL**  
H1 - HIGH SHELF (-2dB 10kHz)  
H2 - HIGH SHELF (-1dB 10kHz) HIGH MID PEQ (-1dB 3.5kHz)  
H3 - HIGH MID PEQ (-1dB 3.5kHz)  
H4 - FLAT  
H5 - HIGH MID PEQ (+1dB 3.5kHz)  
H6 - HIGH SHELF (+1dB 10kHz) HIGH MID PEQ (+1dB 3.5kHz)  
H7 - HIGH SHELF (+2dB 10kHz)

USB SEE USER MANUAL  
(NOT FOR CHARGING)

#### POWER



AC 100-240V~60/50Hz 82W  
□ 100V-120V T3.15AL250V  
□ 220V-240V T1.6AL250V

ON



DATE CODE

PART NUMBER

DESIGNED & ENGINEERED IN THE U.S.A.  
MADE IN CHINA

SERIAL NUMBER HERE

## LOW CONTROL

LOW SHELF Cut 設定はウォールカップリングフィルターです。これらのイコライザー設定は壁近辺にあるときや天井が低い場合に蓄積し得る低域をロールオフします。

Boost (ブースト) (プラス) 設定はビートを加えたい場合に低域を追加します。これらはお好みに合わせて設定してください。ほとんどのスタジオでは、フラットポジションの設定でかなりの低域が実現します。

LOW MID PEQ -これはQの広いパラメトリックイコライザーです。これは低域はカットせず、中低周波数をカットします。当社ではこれをデスクフィルターと呼んでいます。別名「デスク」の大きなミキシングボードや大きなデスクを使用している場合は、中低域が蓄積し、音声を濁らせることがあります。

注: ひとつの設定でウォールカップリングフィルターおよびデスクフィルターの両方を使用します。

## HIGH CONTROL

HIGH SHELF および HIGH MID PEQ - これらすべての設定はユーザーのミキシングの嗜好に合わせて。高中域または高域を増減させたい場合は、これらを満足できるまで調節してください。明るくて高域を減らしたいスタジオもあれば、暗くて高域を増やしたいスタジオもあります。シェルフおよびパラメトリックイコライザーが提供されています。パラメトリックイコライザーは高周波数を変更せずに高中周波数を増減します。

## 保証

ギブソン・プロ・オーディオのブランド (Stanton, KRK, Cerwin Vega!) のひとつをお選びいただき、ありがとうございます。

私共はおお客様の満足度を非常に大切なものと考えます。私共は自らの仕事の品質を支持することを誇りにしており、お客様に信頼されることを非常に嬉しく思います。お客様にお買い上げの製品を登録していただくことで、私共の最新の進歩についていち早くお客様にお知らせすることができます。

アメリカ合衆国にあるギブソン・プロ・オーディオ正規販売店からお買い上げいただいた商品を登録するにあたっては: